

なかよく 令和6年度 3月号 かしこく 150th Anniversary 元気よく

令和7年3月21日 文責 黒木 幸博

ありがとうございました

今年度の登校日（4年生以上）は3月23日（日）の卒業式のみとなりました。

児童の皆さん、学校生活とても頑張ってくれました。保護者の皆様、学校に対するご理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

また、卒業生の皆さんと保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

輝く中学校生活となることを願っています。



お別れ集会の様子

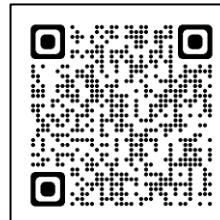
お知らせ

3月26日(水)午前中に退任式があります。誰が退任されるのかは、21日時点では言えませんが、7人の先生とお別れになります。

卒業生の皆さんも含め、全員(可能な限り)参加してください。

学校HPの紹介

子供たちの日々の様子を紹介しています。右のQRコードからご覧ください。



すすんで挨拶ができる子供は・・・

学力というと、「学ぶ内容」を身に付けているかどうかに焦点が当てられがちですが、問題や課題に対し、どのように解決していくべきかという「学ぶ方法」も大切で、身に付けてなければならない学力です。

Society5.0（下記）やVUCA（先行きが不透明で、将来の予測が困難）といわれる社会（時代）で生きていかなければならぬ子供たちは、新たな問題や課題と出会ったとき、それらにどう対応し、どう解決していくべきかという「学ぶ方法」を身に付けておくことがより重要になってくるでしょう。

ある大学の先生が、学力と挨拶の関係について調べています。

アンケート調査で「すすんで挨拶をしている」と答えた子供の多くが、「学校の授業に進んで取り組んでいる」「話し合う活動をとおして自分の考えを広げたり深めたりしている」「自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりしている」と答えています。しかし、すすんで挨拶している子供がペーパーテストの結果もよいかというとそうではなかったということでした。これは、小学生も中学生も同じ傾向でした。

つまり、「学ぶ内容」の習得に差は見られないが、「学ぶ方法」の習得については、すすんで挨拶ができる子供の方が優れているということでした。

学校でも家庭でも、すすんで挨拶ができる子供を育てていきましょう。

Society5.0 サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会

参考：Society1.0 狩猟社会 Society2.0 農耕社会
Society3.0 工業社会 Society4.0 情報社会

来年度からの通知表について

変更点をお伝えします。

今年度までの通知表は、10月に前期（4月～9月）評価、3月に後期（10月～3月）評価を示し、年間評価を示しませんでした。

来年度から、3月に年間（4月～3月）評価を示すこととし、10月は中間評価（結果ではなく途中経過）を示します。

なお、学校で5年間保管する児童の「指導要録（学習の記録）」には、3月の通知表で示す評価結果を記載します。今回の変更には、学校に残す記録を保護者に開示する目的もあります。（「開かれた学校」の取組の一つ）

10月の通知表をみて、前期を振り返り、後期の頑張りにつなげてほしいと思います。

他にも変更点があります。詳しくは、通知表と一緒にプリントを配付していますので、ご覧ください。

校長より

校長室前の【今月の言葉】

「自分の力を発揮できる
ところに運命は開ける」

福沢諭吉さんの言葉です。

「自分の力を発揮できるところ」とはどこでしょう？ そして、自分のよさ（力）は何でしょう？

自分のよさ（力）を伸ばすための学校です。
自分のよさ（力）を伸ばすための勉強です。

そして、学校でいろいろな人たちとかかわり、たくさんの経験を積むことによって、力を発揮できるところを探すことができます。
勉強することによって、力を発揮できるところを見つけることができるでしょう。

みなさん、令和7年度も頑張りましょう！